

2020年8月

【管内情報】

酪農家でのこれからの活躍に期待！

碓高原牧場では、府内の酪農家から後継牛となる雌乳牛（ホルスタイン種 2～8 か月齢、ジャージー種 12～16 か月齢）を導入後、受精卵移植や人工授精で受胎させ、分娩予定の1～2 か月前を目途に酪農家に譲渡する乳用育成牛の繁殖・譲渡事業を行っています。

今回は、昨年春に導入したホルスタイン種 22 頭のうち、9月～10月に分娩予定の7頭が生産者の元へ帰りました。

これらの牛は、優秀な後継牛としての

活躍とともに、和牛子牛を分娩することで、府内産和牛子牛増産の一役も担っています。



乳牛の譲渡前評価

酪農家へ帰る乳牛たち

碓高原牧場

肉用牛繁殖・肥育一貫経営を目指す農家に繁殖研修を開催

肉用牛経営は子牛を生産する繁殖農家とその子牛を肥育する肥育農家がそれぞれ専門的に経営する形態が一般的ですが、近年の子牛価格の高止まりを受け、子牛生産から肥育までを一経営体で行う繁殖・肥育一貫経営がより注目を集めています。

8月27日に繁殖・肥育一貫経営を目指す肥育農家2戸の要望により従業員2名を対象に繁殖研修会を当センターで開催しました。

性ホルモンの作用等の基礎知識習得のための座学と直腸検査などの実習を行い、牛の繁殖に関する理解を深めてもらいました。

今後も、様々な研修会や勉強会を通して、農家の人材育成に努めていきます。



基礎知識習得のための座学



発情観察・直腸検査の実習

畜産センター